

記者発表（資料配布）				
月／日	担 当 課 団 体 名	TEL	発表者名 (担当者名)	その他の 発表・配付先
7/26 (水)	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部	078-262-5502	事業部長 筆保 慶一 (運営課長 森川 徹)	なし

防災100年えほんプロジェクト 防災100年ものがたり（絵本の原案）の募集（第2回）について

昨年度「防災100年えほんプロジェクト」を立ち上げ、災害から命を守るために大切なこと、防災・減災を推進する上で大切なことを数世代先の人々に届けるために、「防災絵本づくり」をスタートしました。

このたび、絵本の原案となる「ものがたり募集（第2回）」を行います。100年先の未来まで伝えたい「ものがたり」を広く募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

記

- 1 **タイトル** 防災100年えほんプロジェクト
防災100年ものがたり（絵本の原案）の募集（第2回）
- 2 **応募期間** 令和5年9月1日（金）～ 令和5年11月5日（日）
＜防災の日＞ ＜世界津波の日＞
- 3 **応募規定**
 - (1) **文字数** 2000字（A4サイズ1ページに400文字の原稿用紙で最大5ページとする）
 - (2) **年齢** 応募時点で15歳以上
 - (3) **応募点数** 1人につき1作品
 - (4) **言語** 日本語のみ
 - (5) **内容** 事実に基づくもの、フィクション（創作）のいずれでも可
※作品は応募者の自作でこれまでに未発表・未応募のものとする。過去に他の公募に応募した作品、また既存の作品からの転用等が確認された場合は、入選後も失格とする。

※詳しくは、「防災100年えほんプロジェクト」サイト (<https://bosai100nen-ehon.org>) をご確認ください。
- 4 **応募方法** ウェブサイトの応募フォームより、原稿データ（pdfファイル）を提出
URL ; <https://bosai100nen-ehon.org/story/guidelines>
- 5 **入選作品の選定**
 - (1) **選定方法** 選定委員会により、応募作品の中から優れた作品を選定（最大10作品）
 - (2) **表彰・特典** 入選作品の表彰及び副賞として金5万円（予定）を贈呈

- (3) 選定委員 (予定) 河田 恵昭氏 (人と防災未来センター長)
竹下 景子氏 (俳優・こども本の森 神戸 名誉館長)
池上 三喜子氏 (公益財団法人市民防災研究所理事・特別研究員)
住田 功一氏 (大阪芸術大学／元NHKアナウンサー) ほか
- (4) 選定時期 令和5年11～12月 (予定)
- (5) 結果発表 令和6年1月 (予定)

6 主催 ひょうご安全の日推進県民会議 防災100年えほんプロジェクト実行委員会

7 その他 昨年度実施した「防災100年ものがたり (絵本の原案) の募集 (第1回)」では148作品の応募があり、選定委員会を経て10作品が入選しました。現在、その入選10作品の中から絵本化を進めるべくコンペを実施しています。今後、絵本化する作品を決定し、令和6年3月までに絵本を刊行予定です。

8 事務局 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部運営課内
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL ; 078-262-5502 / FAX ; 078-262-5509
E-Mail ; contact@bosai100nen-ehon.org
※お問い合わせはE-Mailをご利用ください。

2023

防災 100 年ものがたり

(絵本の原案)

募集!

第2回

100
年先の未来まで。

大切なこと…

伝えたい、



あなたのものがたりを
未来へ届けよう!

2000 字の
作品を募集。

ウェブサイトに原稿用紙
フォームがあります。
エントリーもウェブサイトの
フォームから。

応募期間:

2023 年 9 月 1 日 ~

防災の日 (関東大震災 100 年の日)

11 月 5 日

世界津波の日

2022 年度第 1 回ものがたり募集の入選 10 作品をサイトで公開しています。ぜひご覧ください。

<https://bosai100nen-ehon.org>

主催: 防災 100 年えほんプロジェクト実行委員会

事務局: 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部運営課内



B O S A I

100 年
えほん

PROJECT



時を経ても、続く価値を。

SEKISUI HEIM
Unit Technology for the Future

当社はトップパートナー企業として 防災 100 年えほんプロジェクトを応援しています。

100年先の未来まで。伝えたい、大切なこと…

「防災100年ものがたり（絵本の原案）」募集 第2回

募集内容

災害から命を守るために大切なこと、防災・減災を推進する上で大切なことを、数世代先の人々にまで届け、伝え続けるため、物語り（文章作品）に表現してください。内容は、事実に基づくもの、フィクション（創作）どちらでも構いません。入選作品はウェブサイトで公開するとともに、選抜作品の絵本化を進めます。



応募規定

- ・文字数：2,000字（400字原稿用紙5枚）まで
「A4サイズ1ページに400文字の原稿用紙で、最大5ページ」とします。改行、文字間、行間の空きも文字数に含めます。WEBサイトに応募用原稿用紙テンプレートもご用意しています。（詳しくはサイトにてご確認ください。）
- ・年齢規定：応募時点で15才以上であること
- ・応募点数：1人につき1作品
グループによる共同提出も可。
グループメンバーへの参加も1人につき、1作品のみとします。
- ・言語：日本語のみ
- ・内容規定：作品は応募者の自作でこれまでに未発表・未応募のものとなります。過去に他の公募に応募した作品、また既存の作品からの転用等が確認された場合は、入選後も失格となります。

応募期間

2023年9月1日（防災の日・関東大震災100年）
～11月5日（世界津波の日）

応募方法

ウェブサイトに掲載の案内を参照の上、応募フォームより、必要情報を添え、応募および原稿データを提出してください。（原則としてPDFファイルのウェブ投稿での提出となります。）

入選作品の選定

選定委員会により、応募作品の中から優れた作品を選定し（最大10作品まで）、表彰するとともに、副賞として金5万円（予定）を贈ります。

選定委員会：河田 恵昭 氏 人と防災未来センター長
 （予定）竹下 景子 氏 俳優・こども本の森 神戸 名誉館長
 住田 功一 氏 大阪芸術大学／元 NHK アナウンサー
 池上 三喜子 氏 （公財）市民防災研究所理事・特別研究員
 山田 千夏 氏 神戸の絵本専門店「えほんのトコロ」店主

選定期間：2023年11～12月（予定）
結果発表：2024年1月（予定）

プロジェクトの概要

防災100年えほんプロジェクトでは、当募集で入選作品を選定した後、下記の取り組みを進めます。

■選定の「ものがたり」の絵本化

入選作品中から選抜した作品の絵本化に取り組みます。

■入選作品の公開・多言語化

入選した作品を「防災100年ものがたり」として、WEBなどで公開します。また、世界中の方に利用いただけるよう、英訳するとともに、多言語化を進めます。

これらの事業は2年間を1サイクルとして実施します。詳しくはウェブサイトでご確認ください。

応募にあたり、下記への同意をお願いします。

- 1 応募における個人情報の取り扱いについて：
応募時点でいただく個人情報については、事務局で適正に管理するとともに、当人の事務連絡および、プロジェクトからの通知以外の用途では使用致しません。
- 2 入選作品の著作権・使用権等について
 - ①入選作品の改訂と公開について：
入選作品はプロジェクトによりサイト上などで公開します。公開する作品は、誰でも自由に利用・再配布できるものとなります。公開にあたっては、主催者の判断により、主題に抵触することのない範囲で、文字校正、部分修正などをさせていただきます場合があります。また入選作品を原案とする絵本化作品などの二次的産物も、公開する予定です。
 - ②入選作品の著作権について：
作品の著作権における著作権者人格権は応募者本人に帰属しますが、作品の公開・絵本化・出版などの二次的使用権は、プロジェクト主催者にあるものとします。（クリエイティブ・コモンズの考え方について、詳しくはウェブサイトにて記します。）



あなたの大切な想いを物語りに託してください。素晴らしい絵本にして、世界に、未来に届けましょう！

河田 恵昭 人と防災未来センター 長
当プロジェクト提唱者



<https://bosai100nen-ehon.org>

防災100年えほんプロジェクト実行委員会

事務局：
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部運営課内
メールアドレス： contact@bosai100nen-ehon.org
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 西館5F
TEL：078-262-5502

BOSAI 100年 えほん PROJECT

当プロジェクトは、開設20周年を迎えた人と防災未来センターの記念事業として立ち上げました。

日本はもとより、世界の防災・減災を長い目で実現していくための文化醸成を目指し、SDGsの一環としても位置付けられる社会貢献活動です。実行委員会では、パートナー企業等の参画を募集しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS